

## 活用方針



### VLP取組概要



#### ■ VLP活用のねらい

- 様々な事情で学校に通うことができない児童生徒、対面による交流や会話が困難な児童生徒、他人の視線や言動が気になる児童生徒たちが、アバターを使い同世代の子どもや支援員等との他者交流をする。
- 自分のペースでできる学習の場を提供する。

#### ■ 対象生徒・児童

- ①小学生（3年生以上）
- ②中学生（全学年）

#### ■ 運営時間

- 平日（月～金） 9：00～17：00

#### ■ 活用方法

- 自宅、学校（教室以外）等から、学校タブレットでログインし、他者との交流（会話や遊び）、学習ツールでの自己学習。

## 活動・取組み内容



### 活動・取り組み内容

#### 【全期】

- 利用は、学校、SSW、相談員から趣旨を説明の上、利用に適していると思われる子を申請。
- 保護者からの利用申請に「目標：本人」「目的：保護者」を記載。
- 自発的、継続的利用を促すため、「自分時間割」を検討させる。
- 月末締め、翌月初個別利用実績（利用日、活動参加日、過ごし方）を申請担当者に報告。
- 自分から見に行く機会の少ない情報（教育支援センター、将来の職業、進学等）を掲示。

#### 【前期】

- 自己学習ができるよう「学習エリア」を設置。（デキタス以外の学習ツールの常設）※後期継続
- 学習以外に楽しく過ごす「オンライン部活」を設定。

#### 【後期】

- 「オンライン部活」を、皆で一緒に遊べる「みんな集まれ」に変更、週替わりの活動を実施。
- 毎月最終週に「クイズ大会」を実施。

## 成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

### 成果/好影響

- ✓ 学校での三者面談で、自分の気持ちが言い出せなかった生徒が、VLP内で支援員さんに自分が思っていることを話していた。
- ✓ 学校からの生徒情報で「人見知りでおとなしい」と伝えられていたが、VLP内では自分から積極的に他者へ声掛けしたり、遊びに誘ったり、非常に活発に活動していた。（学校では見えない一面が出ていた）
- ✓ 自分から声掛けすることが苦手な子が、よく話しかけてくれる子が参加するようになり、入室回数が増えた生徒がいた。
- ✓ 利用していくうちに慣れてきて、保護者が声掛けしなくても自主的に利用する事が増えた児童がいた。

### 次年度以降の方針

- ✓ アカウント配付者が、楽しく継続利用できる空間にするような運用を検討中

### 利用者の声



児童・生徒

- 階段アトラクションが楽しい。
- もっと色々なアトラクションがあるといい。
- もっと（同世代の）児童生徒がいるといい。
- クイズ大会で自分の知っている場所（公園）が問題にでてきて楽しかった。



教職員や保護者等

- 他者とつながりたい気持ちが伺えるようになりました。
- 入室時、大人しかいなかったため緊張したらしく、利用継続に繋がらなかった。
- 現実社会で他者と関わることの難しい児童・生徒にとっては、バーチャル空間で本来の自分とは少し違う自分で他者と交流できるのは、少しだけでも不安を軽くした状態で対人交流の体験を積むことのできる貴重な場だと思います。

「オンライン部活」改め  
**【みんな集まれ！】ってなに？**

2時から  
毎日やるよ

だれかとおしゃべり  
したい子、おいだよ～

だれでも  
参加できるよ

毎週遊びが  
変わるよ!!

**みんなで一緒に遊ぼう♪**

**楽しい時間をすごそうね♪**

**9月の遊び**

★ホワイトボード★  
 (9/1～9/5)  
 ①これ、何だ!?  
 ②絵しいどいり  
 ③ことマスゲーム

★階段★  
 (9/8～9/12)  
 ①タイムアタック  
 ②ジャンプで得点  
 ③出会ってジャンケン

★クイズ★  
 (9/16～9/19)  
 ①〇×クイズ  
 ②3択(さんたく)クイズ  
 ③わたしは何でしょう

★桃鉄★  
 (9/22～9/26)  
 ①ゲームしよう  
 ②お金・資産は?  
 ③誰が一番かな?

2時に  
あつまって!

♪ 私の時間割 ♪

	月	火	水	木	金
9:00	開室				
10:00					
11:00					
12:00	昼休み				
13:00					
14:00	みんな集まれ!				
15:00					
16:00					
17:00	閉室				

★VLPでの過ごし方は自由です★

週ごとに違う「みんな集まれ!」や、デキタス、みんなでプログラミング、学校で使っているQubenaなどの学習ツール、桃鉄が用意してあります。

学習や支援員さんのおしゃべり、みんなと一緒にゲームするなど、やりたいことを考えて「自分の時間割」を作って過ごしてみましょう。

■自由時間 ■ 好きなように過ごす

- ・支援員や参加生徒とおしゃべりする
- ・ホワイトボードで絵を描く
- ・階段アトラクションで遊ぶ
- ・みんなと一緒に遊んで過ごす
- ・ただ、いる

■学習時間 ■ 学習ツールを使って勉強する

- ・デキタス：国語、算数/数学、理科、社会、英語
- ・みんなでプログラミング：タイピング、プログラミング、動画(情報の学習)
- ・Qubena：学校のアカウントでログイン